



## 下足前での健康観察が始まりました

コロナウイルス感染拡大のためいろいろな変更や制約がかかっている学校生活です。大きな変更点となった朝の健康観察ですが、昨日の様子を見てみると、生徒のみなさんも教職員も要領がつかめてきて、結構スムーズに流れていました。朝、オンラインで健康観察を送信している人は、下足室前で立ち止まる必要がないので、下足室前での密は発生していませんでした。

もし、オンラインでの健康観察のやり方がわからない、という人がいたら遠慮なく担任の先生に質問してください。朝、体温を測り忘れた人は下足前で測りますので、必ず伝えてください。

そして、少しでも体調不良を感じたら、熱がなくても学校を休むことは忘れずにお願いします。



朝の登校の様子

## 体育大会の実施に向けて

前号の「十八中だより」にも書きましたが、現段階では9月30日に予定している体育大会は実施する予定にしています。保護者の方の体育大会への参観については、今後の感染状況により判断しますので、しばらくお待ちください。

先週には全学年で出場種目決めや、係活動決めを行いました。2, 3年生は慣れているのか結構早く決まったようです。リモートで休んでいる人とつないで、決めたクラスもあったようで、「こんなタブレットの使い方もあるんだ」と感心しました。1年生も無事全部決まりました。

残念ながら自分の希望どおりにならなかった人もいます。悔しかったと思いますが、その経験も決して無駄（むだ）にはなりません。気持ちを切り替えて、決まった種目でベストを尽くして楽しむたくましさを発揮してくださいね。

## 応援旗は・・・

体育大会を盛り上げる大切なツールに応援旗があります。夏休みの課題にしていたので、いろいろな力作が集まっているようです。

2, 3年生の人はすでに経験済みなのでわかっていると思いますが、応援旗はみなさんが提出したデザインからクラスで一つ選び、そのデザインを大きな布に写し、クラスの多く



昨年度の応援旗（一部）

の人が関わりながら色塗りをして完成させるものです。完成までには何日もかかります。

手間ひまかけて、クラスのみんなが関わりながら完成させるその過程があるからこそ、応援旗は「クラスみんなの作品」になるのです。創立当初から続いている体育大会での大切な取り組みの一つです。しかしその大切な取り組みも、今の状況では例年通りには実施できないという判断をしました。

コロナウイルスの感染拡大を受けて、文部科学省が8月20日に出した通知文の中に、「次のような活動は感染のリスクが高い学習活動なので、レベル3の地域では行わないこと」としていくつか具体的に示しています。その中に次のような言葉があります。

- ・各教科等に共通する活動として「児童生徒が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等」および「児童生徒どうしがいっせいに大きな声で話す活動」
- ・図画工作、美術、工芸における「児童生徒どうしが近距離で活動する共同制作等の表現や鑑賞の活動」

応援旗作成は美術という教科ではありませんが、コロナの感染でいうと教科であろうとなかろうと感染リスクの高さには変わりありません。大変残念なことです。コロナウイルスの感染を避けるためにはここで無理はできません。

そこで、今年度の応援旗は次のようにします。各クラスで集まった応援旗のデザインから、クラスで2つ代表作品を選びます。そのデザインを拡大プリンターで大きく印刷して、体育大会当日にフェンスに張り出します。ろうかなどに貼っている学年目標等のイメージですね。作成する手間ひまはかけられませんが、クラスのみんなで納得できる作品を選ぶことは大切にしたいと思います。ぜひ素敵な作品を選んでください。

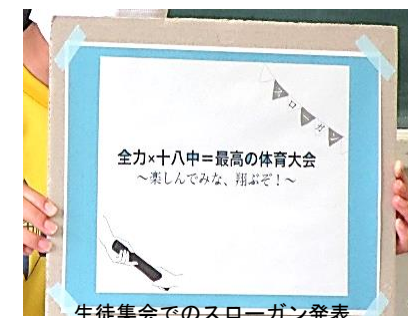
今年は、そのような形での実施になりますので、例年行っている応援旗の表彰は行いません。

また、生徒会のオープニングも同様の理由で、例年通りの形での実施はできません。生徒会執行部の人もいろいろと計画を練っていて、それを支えようと思っていた人たちもいたと聞いています。その心中を考えると応援旗同様、本当に残念です。例年オープニングでは、生徒会の体育大会スローガンをPRしています。ダンスなどの活動はできませんが、何らかの形でスローガンを示すことができればと思います。

感染に十分気をつけながら、「全力×十八中=最高の体育大会」をみんなで一緒にめざしていきましょう！



昨年度の応援旗作成の様子。どうしても密になってしまいます...



生徒集会でのスローガン発表